

## 地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和2年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
豊富町	簡易水道事業	—	—

### 実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
							○

### 現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

取り組みを進める人員も時間もない。また、現行3名体制で上下水道業務を遂行している中、問1にある回答に該当する業務を行うメリットがない。  
 他市町村に比べランニングコストがかからないため、計画的に施設更新と使用料改定を行えば、赤字は必要最低限に抑制できると考える。